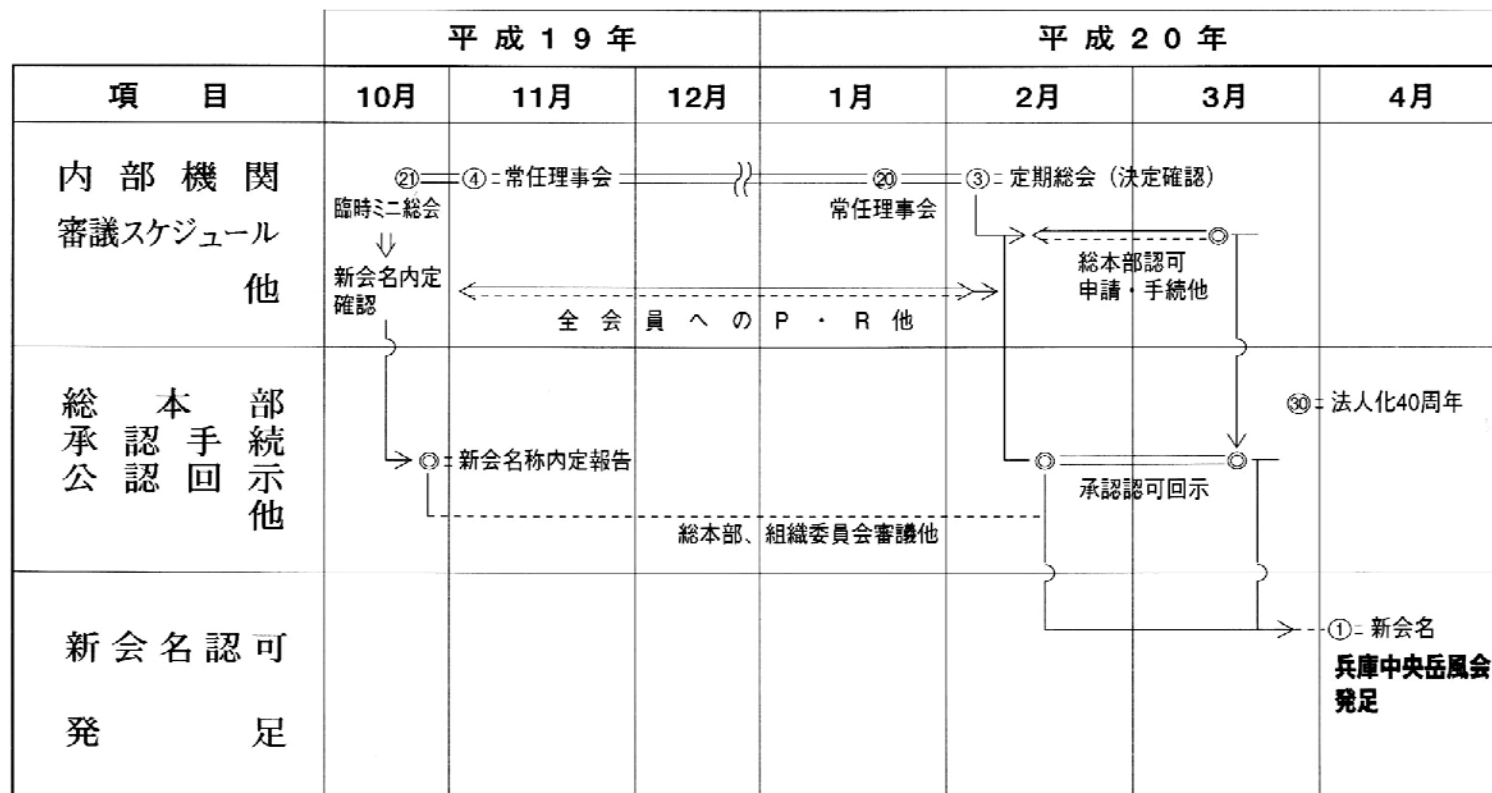


発行所 兵庫中央岳風会本部
発行者 向田 岳 隆
編集 広 報 部

岳風兵庫かわらばん

「兵庫中央岳風会」新しい会名です。

新会名「兵庫中央岳風会」公認・発足日程



臨時ニ総会開催

「会名称」変更に伴う対応措置の確認
平成十九年十月二十一日
午後一時三十分

於 木材会館(4F会議室)

総会の構成員
常任理事及び各ブロック代表(四十七名)

一三三議案

兵庫県本部「会名称」変更対応措置の件

議長の主旨説明

総本部より平成十八年十月十二日付けの
指針通達を受け、平成十八年十二月十七日
臨時常任理事会での審議、平成十九年二月
四日第五十二回定期総会において認可制
度変更の指針内容の報告を行い、県本部組
織としての対応策取り組みに関する内諾
を得ました。『県本部「会名称」変更に関
する措置主要日程表』に基づき審議を重
ね、「新会名」の一般募集を平成十九年五
月下旬〜七月末にかけて行いました。その
結果、125件の応募があり、平成十九年
八月十八日の臨時幹部会において応募さ
れた名称を選択・選考の基本方針に従い、
慎重に取り纏めを行いました。

新会名称確認

応募125件の中から拡大教務部会に於
いて上位3件決定いたしました。

- 一位：兵庫県岳風会
- 二位：兵庫中央岳風会
- 三位：兵庫吟道岳風会

一三三議案

(1)新会名移行に伴う

組織運営関連補正措置の件

新名称の変更に伴い、兵庫県本部の定款変
更を行います。

- 「兵庫県本部」「兵庫中央岳風会」
- 「本部長」「会長」
- 「副本部長」「副会長」などの定款表記
を変更いたします。
- 定款の改訂作業は広報部で行う。

新名称の承認時期

総本部に平成20年4月1日の新年度よ
り新名称承認認可の申請を行います。

「兵庫中央岳風会」か「兵庫吟道岳風会」
かの決定

「社団法人日本詩吟学院岳風会認可」兵庫中
央岳風会」の新名称が出席者の挙手多数に
より決定した。

「兵庫中央岳風会」は最終的に平成十
九年十月十三日の地区連絡会議の席上、
「〃県」と付いた認可団体は全国的に認め
ていないのでご遠慮願いたいという総本
部からの申し入れがあり断念せざるをえ
ない結果になりました。

二位又は三位の名称から決定することに
なりますが、県代表としてふさわしく、か
つ、重み、清楚さがあり、未来志向への先
達ということを勘案し、三位の吟道岳風会
という名称は一般的であり、「兵庫中央岳
風会」が良いのではないかと考えます。

(2)名称変更に伴う費用の助成金請求の件
会旗、甲旗、クロス、横断幕、封筒、印鑑
などの総額は約159万円掛かるが
総本部の助成金は20万円プラスアルファ
と言っているがもう少し要求をして参
ります。

(3)役員の改選を暫定的に一年間延期の件
ブロック長も含めて本部役員の任期を一
年間延長します。

本日決定した新会名の変更、定款の変更およ
び役員の暫定任期延長の件は平成二十年の定
期総会において提案します。

二三三議案

新体制の対内外の措置

県連、愛連などの団体に対し新名称の変更
を申し入れる。

全国の認可団体に新名称変更の案内を出
す。

平成二十年四月一日付けで会員名簿の改
定を行う。

預金の名称変更を行う。

新名称の略称は「兵庫中央」とする。



「兵庫中央岳風会」 発足

新会名に望み、全会員心機一転「未来思考へ先達の年」

「兵庫中央岳風会」 発足

- 平成二十年度春季 第百五回資格審査会入賞者**
- ・幼・少年の部優秀賞
 - 無級 宝楓支部
 - 1級 蘭生支部
 - ・一般無級の部
 - 第一位 西代支部
 - 第二位 萌友支部
 - 第三位 宝楓支部
 - ・4級の部
 - 第一位 松風支部
 - 第二位 日高支部
 - 第三位 誠板支部
 - 次点 恵支支部
 - ・3級の部
 - 第一位 須磨寺支部
 - 第二位 萌友支部
 - 第三位 太陽支部
 - 次点 重池支部
 - ・2級の部
 - 第一位 三田城山支部
 - 第一位 須磨寺支部
 - 次点 葵支支部
 - ・1級の部
 - 第一位 宝楓支部
 - 第二位 宝楓支部
 - 次点 宝旭支部

第百十八回全国吟道大会に参加して

副理事長 舛田 岳 卒



沖縄コンベンションセンターを背景に

第百十八回全国吟道大会が平成十九年十一月十八日沖縄県宜野湾市沖縄コンベンションセンターにて開催されました。

兵庫県本部は、本部長向田岳陸先生・副本部長兼理事長立脇岳先生・私、舛田岳卒の三名が、近畿地区での出場予定でしたが、本部長向田岳陸先生が都合により参加出来なくなり、二名で前日の十七日、神戸空港より二泊三日の行程で参加しました。大会当日の内容は、「吟道」一月号に掲載されていますのでご参照ください。

合吟は、出番十七番で吟題は兵庫ゆかりの「大楠公」。私は、独吟で「鶴鶴樓に登る」を吟じさせていただきました。

- 平成十九年度
- 五月十三日
- 兵庫県壮年コンクール大会（一般二部）
於 中央労働センター他六会場
- 決勝出場者 井本あけみ（第十位）
- 上位入賞者 白坂澄夫 西田洋子
- 入賞者 沖野 満 笹山妙子
- 落合五代子 花篤愛子
- 大串一六子 馬場美代子
- 東喜久子 三宅 武
- 奥田美智子 島谷陽子
- 魚住絹子 小澤草恵
- 妹尾節子 植田艶子
- 大森寿美子
- 五月二十七日
- 兵庫県壮年コンクール大会（一般三部）
於 中央労働センター他三会場
- 決勝出場者 奥 涼子（第三位）
- 松浦泰子（第五位）
- 入賞者 桶土井綾子 吉田光夫
- 小寺元信 大江初美
- 橋高 幸 北田恭子

- ・初段の部
 - 第一位 すみれ支部
 - 第二位 宝翔支部
 - 次点 北長狭支部
- ・二段の部
 - 第一位 川西支部
 - 第二位 月見山支部
 - 次点 心声支部
- ・三段の部
 - 第一位 要支支部
 - 第二位 宝塚支部
 - 次点 蘭秀支部
- ・四段の部
 - 第一位 橋台山支部
 - 第二位 西山支部
 - 次点 太陽支部
- ・五段の部
 - 第一位 宝旭支部
 - 第二位 宝楓支部
 - 次点 宝楓支部
- ・六段の部
 - 第一位 宝栄支部
 - 第二位 新宮川支部
 - 次点 新宮川支部
- ・七段の部
 - 第一位 桜花支部
 - 第二位 西支支部

三田目には、首里城公園・ひめゆりの塔を尋ねました。

首里城は、太平洋戦争における日米最後の決戦となった「沖縄戦」（昭和二十年）によって、アメリカ軍の猛烈な砲撃を受け炎上し、地上からその姿をほぼ完全に消してしまいました。首里城は、琉球王国の幾多の興亡を伝える歴史の証人です。それは、首里王府の司令塔として、王とその家族が住み、華麗な王朝文化に彩られた空間でした。

その首里城は、今、琉球の建築文化・美術工芸として価値観を訴える「琉球の顔」として消失から数えると、四十七年ぶり（平成四年）に復元され蘇っています。

ひめゆりの塔は、沖縄戦末期の激しい戦闘でほぼ全滅した沖縄陸軍病院第三外科壕の跡に立てられた慰霊碑です。ここは「ひめゆり学徒」達が配属された看護活動を行っていた最後の場所、旧陸軍第三外科壕跡です。戦況が悪化したことから「ひめゆり学徒」



参加岳風会会旗整列



構成吟より首里城正殿

- 五月二十七日
- 少年部吟詠大会
於 明石市立勤労福祉会館
- 幼年の部
- 金賞 北條汐織 樋口紗美
- 銀賞 河合貴義
- 少年の部
- 優勝 久田葉月
- 金賞 高濱晴佳 河合将輝
- 銀賞 小寺夢香
- 七月一日
- 第五十四回二部指導者級
吟士権者決勝大会
於 中央労働センター他三会場
- 決勝出場者 菅梢岳（第十一位）
- 入賞者 松井岳濤 岡田興風
- 東秀 岳
- 七月八日
- 第五十七回一部一般の部
吟士権者決勝大会
於 二会場
- 決勝出場者 濱崎加奈子（第十二位）
- 愛連資格入賞者 久田雅美 黒田澄世
- 奥田美智子 久田葉月
- 井本あけみ
- 九月十六日
- 愛国詩吟総連盟第一部一般の部
吟士権者決定詩吟大会
於 二会場
- 決勝出場者 松浦慶治（第八位）
- 入賞者 濱崎加奈子 久田雅美
- 久田葉月
- 九月十七日
- 全国吟詠コンクール決勝大会
少年の部
第二位 久田葉月
- 十月七日
- 愛国詩吟総連盟第二部指導者の部
吟士権者決定詩吟大会
於 高槻現代劇場
- 入賞者 奥 涼岳
- 十月十四日
- ふれあいの祭典
於 アルカイトホール
吟詠大会成績
- 男子の部
第五位（認可団体と混合チーム）
- 女子の部
第四位（本部チーム）

- ・初伝の部
 - 第一位 竹馬支部
 - 第二位 みなと支部
 - 次点 清支支部
- ・中伝の部
 - 第一位 須磨寺支部
 - 第二位 ひまわり第一支部
 - 次点 塩屋台支部
- ・奥伝の部
 - 第一位 親生支部
 - 第二位 長田支部
 - 次点 みやび支部
- ・高齢者の部
(激励・寿賞) 八十歳以上
 - 無級 西代支部
 - 4級 大丸支部
 - 3級 梅支支部
 - 3級 ひまわり第一支部
 - 3級 北山台支部
 - 4級 月見山支部
 - 5級 湊川支部
 - 5級 西山台支部

私の生まれは、山桜で有名な奈良吉野です。

「吉野山麓の奥はしらねども
みわたすかぎり櫻なりけり」
と詠まれ、又、一方では
「花よりも戦史に悲し吉野山」
と詠まれています。

その戦史には、義経主従の逃避行、南朝後醍醐天皇の悲話、楠木正行公の史話など、時代の違いこそあれ、悲しみに変わりありません。沖縄の戦史、中でもひめゆり学徒の悲話・沖縄県民の悲しい犠牲には、涙せずにはいられないものがあります。

この度、沖縄の一部ですが訪れ、改めて戦争の悲惨さを心した次第です。いかに平和が大切かと云うことを痛感致しました。

平和ゆえ
心にしみる詩にふれて
吟じ過せる日々を幸せ 岳卒

- 入賞者 松浦泰子 齊藤みどり
- 横山久恵 甲斐諄子
- 西田洋子 塩谷日沙子
- 魚住絹子 白尾道雄
- 九月十六日
- 愛国詩吟総連盟第一部一般の部
吟士権者決定詩吟大会
於 二会場
- 決勝出場者 松浦慶治（第八位）
- 入賞者 濱崎加奈子 久田雅美
- 久田葉月
- 九月十七日
- 全国吟詠コンクール決勝大会
少年の部
第二位 久田葉月
- 十月七日
- 愛国詩吟総連盟第二部指導者の部
吟士権者決定詩吟大会
於 高槻現代劇場
- 入賞者 奥 涼岳
- 十月十四日
- ふれあいの祭典
於 アルカイトホール
吟詠大会成績
- 男子の部
第五位（認可団体と混合チーム）
- 女子の部
第四位（本部チーム）

気魄雄渾 全会員一丸となって本会の活性化を定着し大きく発展しよう！！